



しげのり もりしげ重則 守山市議会議員 議員レポート vol.4

初春

の候。昨年は、皆様から多大なるご支援を賜り、感謝申し上げます。

今年は、暖かな気候になり、皆様におかれましては、穏やかに過ごされていることと存じます。また本年も皆様からのご支援のもと議員活動に日々邁進して参ります。さて12月議会も終わり、私にとりましては、1年間の議会に壇上することができました。今議会では、守山市のJR東側に着目し公正な行政施策を図るよう提議致しました。守山市域内のどこに住んでいても、日常生活圏内で出来るだけ公平な行政サービスが受けられるよう、今後も尽力して参りたいと考えております。今後ともご支援、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

もりしげ市政報告会 2016年2月21日(日) 19:00～ 阿村町自治会館

●プロフィール 1973年(昭和48年)生まれ
1996年 帝京大学 法学部法律学科 卒業
1996年～2014年営業を中心に製造業にて
調達、品質、損益、人事、管理職まで経験する。

●ボランティア

NPO 法人四つ葉のクローバー 理事/実行委員長:社会的擁護の必要な若者への自立支援・生活支援団体

2015年2月 守山市議会議員 初当選

2015年10月 守山市議会議員 2期目当選

文教福祉常任委員会副委員長、公共施設調査特別委員会副委員長

守山野洲行政事務組合委員、守山栗東広域行政委員

一般質問 ①

JR東側地域における避難所、避難場所について 平成27年12月定例議会

JR 守山駅の線路東側に目を向けると長年公共施設がない、公共の避難所がない、市民の交流、活動の場所がないという問題を地域住民の方から数多く聞いております。市民の安心安全な暮らしを守る防災上で大変重要な問題であると考えております。市民の日常生活に不可欠な市民サービスについては、その居住地がどこであるかを問わず、同じ自治体に居住するすべての市民にできる限り同等の条件で提供するための取り組みが必要であると考えております。JR東側においては公共の避難所、避難場所までの距離が遠くJRの踏み切り、陸橋などが妨げとなっており、これを超えてエルセンター、守山公民館などの公共の避難所に行くには、高齢者の方、小さなお子様を抱えられている保護者にとっては、大変困難であります。現在近隣の多くの企業の方にご協力を頂いており、災害協定を結んでいることは官、民が連携して、地域防災に協力することが一致していることで望ましいことであると考えております。また今後も地域企業のご協力を基に企業での避難所、避難場所を増やすよう取り組んでいくとのことでありますが、いつ何時災害があるかわからない状態で、公共の避難所がないというのは、市民の安全な暮らしを考えるうえで大変重要な問題であると考えております。

このことについて今後本市としてどのように取り組んでいくか見解をお願いいたします。

答 守山市危機管理局长 答弁

JR東側地域は、公共施設がないため避難場所としてワコール流通(株)様、日本パイルン(株)様、ダイワティール(株)様、物資供給として日本コーラ(株)様と災害協定を締結させて頂いております。また今年度中に新たな避難場所の災害協定を締結すべく協議を進めています。また市域界付近にある避難所、避難場所については、栗東市の大宝東小学校は、湖南四市の災害協定に基づき相互に利用できるようになっておりますが、各市の防災マップへの掲載基準に差異があり本市の防災マップに記載ができておりません。今後本市の意向をしっかりと伝え協議を進めて参りたいと思っております。こうした中で今後の避難所確保に向けた考え方でございますがJR東側につきましては、新しい建築物の割合が高く地震時における家屋損壊や火災による延焼率が市域でも最も低い地域の一つでは、ありますものの避難所の確保は必要と考えております。しかしながら、現状ではJR西側の避難所や東側の民間施設ならびに市域外の近隣避難所により対処せざる得ないところですので、そうしたことから、今後JR東側において公共施設が整備された際には、避難所としての適正を判断する中で指定の可否を検討して参りたいと考えております。

JR 東側の今後進められていく公共事業の一つとして伊勢遺跡保存整備事業は、大変重要な位置づけであると考えております。また11月1日の伊勢遺跡まつりには、たくさんの市民の方、市外からの来場者でにぎわい市内外からの関心も高いことが伺えます。しかしながら現在の状態では、史跡近くにトイレもなく市民の方、見学に来られた方が利用するのにまだまだ整備が不足していると思っております。今後整備していくにあたって、普段から本史跡を見学に来られた方の利用向上をめざすのは、当然のことですが、市民が交流活用できる場所、また避難所、避難場所として整備することが望まれています。今後の JR 東側の公共施設の活用、方策の一つとして、伊勢遺跡の今後の活用については、市内外へのアピールをするとともに、市民が交流、活用できる場所や避難所、避難場所にしていくことが、この地域の課題解決、活性化にもつながると思っております。今後の見解をお願いいたします。

答 守山市 副市長 答弁

今後の伊勢遺跡の活用につきましては、周辺の既存施設の公園や建物の有効利用も視野に入れながら、より魅力的で地域に愛される史跡公園となるよう取り組んで参りたいと考えております。まるごと活性化推進会議ともしっかりと連携を図りこの歴史資源を活かした地域の活性化につなげて参りたいと考えております。伊勢遺跡保存整備事業にあたっては、歴史学習や体験学習を通して、各世代が交流できるようなガイダンス施設はもとより災害時の避難場所としての活用も視野に入れる中、文化庁や滋賀県の指導のもと、地域や保存整備活用委員会での意見も踏まえ、JR 東側の公共施設として地域課題の解決や活性化につながる活用方針を策定して参りたいと考えております。

もりしげ 重則 活動日記



もりやまいちに参加



守山消防出初式に出席



守山市成人式典に出席



守山ハーフマラソンに出席



社会的に不利な状況下の子
ども・若者の支援方法について学ぶ



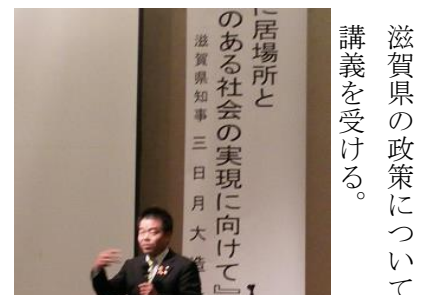
守山の医療と介護の講演会に参加



新春の集いに出席



意見交換会に参加。



滋賀県の政策について
講義を受ける。